

炭酸ガス発生機の効果確認試験

JAみついし

新ひだか町農業実験センター



試験目的

光合成促進機の効果確認試験

試験作物 及び品種

花卉(デルフィニウム)

試験資材 及び数量(規格)

G-Ace 1台

慣行資材

なし

栽培方法

定植日
試験区:11月24日

資材使用期間

3月15日～5月

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

設置については、簡単に行うことができた。タイマーの設定も問題なかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

定植日・品種が同じ慣行区を設けることができなかったため、明確な違いは不明だが、若干生育は良いと思われる。

モニター感想

午前4:00～5:00と、5:10～7:00に機器を動かし、計3時間弱、二酸化炭素を施用した。

条件が同様の慣行区を設けることができなかったため正確な比較対象はないが、例年の感覚から考えると、若干生育は良かったように思う。

本来は、ハウスを閉め切ることが多い11月～冬場に試験したかったが、結果的に春先になってしまった。

二酸化炭素施用の効果を確かめるため、継続して次年度試験する予定。

JA担当者の感想(購買課 成田課長)

二酸化炭素施用の条件としては、あまり適期に試験を行うことができなかった。

光合成促進効果はあるはずなので、次年度の試験で改めて経過を観察したい。

今後の使用について

継続して使用したい。